

山口情報芸術センター [YCAM] : 滞在制作 / ダンス公演

梅田宏明 新作ダンス公演

「**Holistic Strata** (ホリスティック・ストラータ)」(YCAM委嘱作品)

2011年2月19日(土) 19:00開演 / 20日(日) 14:00開演(各回30分前開場)

同時上演「**Accumulated Layout**」(2007) ※各回終演後にトークイベントを開催

山口情報芸術センター [YCAM] スタジオA

2010年度 YCAM パフォーミングアーツのオリジナル作品、いよいよ発表へ。  
光・音・身体に満たされた空間が、知覚の臨界を表出する —。

山口情報芸術センター [YCAM] では、映像と音響表現、ダンスが融合した「ビジュアル・パフォーマンス」で、国内外から注目を集める振付家、梅田宏明<sup>うめだ ひろあき</sup>の新作ダンス作品を発表します。本作は、メディアテクノロジーを導入した身体表現の新展開に挑戦することを目的に、アーティストが山口に滞在し、専門スタッフとともに制作に取り組むYCAMオリジナル作品です。

舞台に使用する映像や音響を自らデザインし、光・音・身体を等価な要素として空間に構成する梅田宏明。その作品を体験する観客は、光と音の強烈な刺激とともに、自らの身体がもつ原初的な反応を実感します。情報技術を使いこなし、パソコンと身一つで世界へ飛び出した振付家は、YCAMを舞台に、どのような飛躍をみせるのか。観客の身体感覚を操り、知覚をも揺さぶる、全く新しいパフォーマンスが提案されます。

**チケット情報** [チケット発売: 12月4日(土)]

料金: (全席自由)

前売 一般2,800円 / any 会員・特別割引2,500円 / 25歳以下2,000円

当日 3,300円 ※当日は各種割引対象外



参考写真: 「Accumulated Layout」振付 / 出演: 梅田宏明(2007)  
photo: Shin Yamagata

#### ■ 報道関係者向け試演会

1月13日(木) 14:00-15:00

試演会では、企画内容のご説明のほか、約20分のデモンストレーションをおこないます。終演後には、参加アーティストがインタビュー等に応じる機会を設けております。

#### ■ YCAM バックステージツアー

2月5日(土) / 6日(日) 14:00-15:00 [各日完結 / 全2回]

参加無料 対象: 小学生以上(小学1~3年生は保護者同伴)

定員: 各回30名 ※要申込

ウェブサイト <http://holistic-strata.ycam.jp/>

ぜひこの機会に、取材や記事掲載ご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

お問い合わせ 山口情報芸術センター[YCAM] 広報担当: 廣田

TEL: 083-901-2222 FAX: 083-901-2216 e-mail: information@ycam.jp

〒753-0075 山口県山口市巾着町7-7 <http://www.ycam.jp/>

取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。

## 梅田宏明 — 映像やサウンドまでを自らデザインする振付家

### 身体をもったインスタレーション — 「ビジュアル・パフォーマンス」

梅田宏明は、振付、ダンスにとどまらず、舞台の映像やサウンドも自ら手掛けるアーティストです。観客が受ける視覚的なインパクトへの興味からデザインされた刺激的な光量や色彩を放つ空間、さらに自らの即興的なダンスとシンクロした舞台は、欧米を中心に注目を集めています。近年には、国際芸術祭「あいちトリエンナーレ2010」での公演のほか、国際的メディアアートの祭典「アルスエレクトロニカ」（デジタルミュージック&サウンドアート部門）で受賞されるなど、国内外、そしてダンス以外の多彩な領域での評価も高まっています。



参考写真：「Haptic」振付／出演：梅田宏明(2008)  
photo: Shin Yamagata

#### ■ 光・音とともに等価に置かれる身体

舞台の基本要素となる照明や音響。梅田の作品では、それらを、ダンスを見せるための従属的なものとして捉えるのではなく、むしろ、身体を舞台上の要素の一つとして捉え、光・音・身体はすべて等価である、という姿勢に貫かれています。自身の「情動」から、色や線といった抽象的なイメージを描き起こし、光・音・身体の関係性を舞台上に組み上げていく作品は、インスタレーションに例えられることもあります。



参考写真：「while going to a condition」(2002)  
photo: Shin Yamagata

#### ■ 観客の視覚をもコントロールする

映像やネット環境に囲まれ、様々なレベルの「リアリティ」が交錯した現在における、ダンス表現とは一。ダンスが、人間の視覚を偏重した表現とされることに異議を申し立てるかのよう、梅田は、あえて、さらなる視覚の過剰さを表明し、自らの作品を「ビジュアル・パフォーマンス」と定義します。それは、観客が受容するイメージを、舞台表現における身体の表象とは別に、視覚情報としてコントロールする態度であり、これまでのダンス表現にはない野心的な挑戦といえます。光の受容器としての身体を分析し、光量や色彩を構成した作品に、観客は知覚の臨界を経験します。



参考写真：「Haptic」(2008) photo: Bertrand Baudry

#### ■ メディア技術を柔軟に使いこなすポータビリティ

世界の代表的フェスティバルや劇場で次々と作品を上演している梅田。パソコンと身一つというそのコンパクトなツアースタイルは、一般的なメディア技術の向上や普及がなされた現在ならではのものと いえます。振付やダンスにくわえ、映像や音響のアイデアを具現化する方法を追い求める梅田のマルチな姿からは、「ポータビリティ」に優れたパフォーマンスの現在形が見えてきます。



参考写真：「Adapting for Distortion」(2008) photo: Alex

## 新作ダンス作品「Holistic Strata」 — 光・音・身体が織りなす層

身体情報をデータ化し、空間の運動へと導く。

研ぎすまされたイメージが、観客を包み込む。

新作「Holistic Strata」では、梅田宏明の作品の特徴ともいえる光・音の表現にくわえ、ダンサーの身体とその運動によって生成される「身体情報」をキーワードに、独自のシステムを開発します。YCAMにおける計2ヶ月間におよぶ滞在制作では、国際的な巡演を視野に入れ、メディアアートのクリエイションに特化した開発チーム「YCAM InterLab」が、作品コンセプトに基づいた技術開発、提案をおこないます。

本作では、身体を舞台上の光や音と等価な表現要素として扱ってきた梅田のコンセプトをさらに飛躍させ、実際に空間を構成する複雑な情報として、身体を捉えます。センシング技術を導入し、ダンサーである梅田の身体情報(筋肉の動きや運動座標)を、光・音を操るためのデータへと変換することで、強烈な明滅や音響、ダンスが一体となった空間が生まれます。光や音と共通の情報単位(ビット)へと分解された身体は、観客の知覚に、どのように届くのか —。梅田の即興的ダンスを、舞台空間に埋め込み、さらに、観客の目前へと浮び上らせる…。そんなイメージを自在に生成するシステムを導入する本作は、空間表現としての<ダンス>、そして私たちの知覚の臨界を追求します。



滞在制作の様子(2010)

### 作家プロフィール



梅田宏明 | Hiroaki Umeda

振付家/ダンサー/ビジュアルアーティスト

1977年東京生まれ。日本大学芸術学部写真学科中退。2000年より創作活動を開始し、「S20」を発足。2002年「while going to a condition」がフランスのフェスティバル、Rencontres Choregraphiques Internationalsのディレクターであるアニタ・マチュー氏により「若くて有望な振付家の誕生である」と評価され、同フェスティバルで公演。2003年にモントリオール(カナダ)で「Finore」、2004年にリオデジャネイロ(ブラジル)で「Duo」を発表。さらに、フランスの代表的な振付家であるフィリップ・ドックフレ氏のスタジオでレジデンス後、2007年にシャイヨー国立劇場(フランス)との共同制作で「Accumulated Layout」を発表。この作品が、クステン・フェスティバル・デザール(ベルギー)、パービカン・センター(ロンドン)、ローマヨーロッパ・フェスティバル、ボンビドゥーセンター(パリ)など、世界各地の主要フェスティバル、劇場に招聘される。2008年にはパリのフェスティバル・ド・トヌヌ、ローマヨーロッパ・フェスティバルとの共同制作作品「Haptic」「Adapting for Distortion」を発表。2009年からは、振付を開始し、ダンサーを起用した初のグループ作品「1. centrifugal」を日本、フィンランドで公演。2010年には、国際的なメディアアートの祭典「アルスエレクトロニカ」(オーストリア、リンツ)にて受賞。また、国際芸術祭「あいちトリエンナーレ2010」でダンス作品を上演するとともに、光とサウンドによる体験型インスタレーションを出品した。

<http://hiroakiumeda.com/>

## 開催概要

山口情報芸術センター [YCAM]：滞在制作／ダンス公演

梅田宏明 新作ダンス公演

「Holistic Strata (ホリスティック・ストラータ)」(YCAM委嘱作品)

2011年2月19日(土) 19:00開演

20日(日) 14:00開演(各回30分前開場)

同時上演「Accumulated Layout」(2007) ※各回終演後にトークイベントを開催

山口情報芸術センター [YCAM] スタジオA

※上演予定約1時間15分。

ウェブサイト <http://holistic-strata.ycam.jp/>

演出・振付・構成・出演：梅田宏明

宣伝美術：中野豪雄

主催：財団法人山口市文化振興財団

後援：山口市、山口市教育委員会

助成：財団法人地域創造、公益財団法人セゾン文化財団

平成22年度文化庁芸術拠点形成事業

共同開発：YCAM InterLab

企画・制作：山口情報芸術センター[YCAM]

関連イベント

支援：平成22年度優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業

## チケット情報

チケット発売：2010年12月4日(土)

料金：[全席自由]

前売 一般2,800円/any 会員・特別割引2,500円/25歳以下2,000円

当日 3,300円 ※当日は各種割引対象外

電話/窓口：

山口市文化振興財団チケットインフォメーション(YCAM内)

083-920-6111 (10:00-19:00 ※火曜休館・祝日の場合は翌日)

インターネット：

<http://www.ycfcp.or.jp/> (24時間受付 ※要事前登録)

- 特別割引：シニア(65歳以上)、障がい者及び同行の介護者1名が対象。
- 本公演では、一部、強い明滅や刺激音を使用した場合がございます。光や音の刺激に弱い方、小さなお子様は、あらかじめ十分ご注意ください。
- 未就学児入場不可
- 託児サービス  
対象：0才(6ヶ月)以上  
託児時間：開演の30分前から終演30分後まで  
料金：お子様1人につき500円、2人目以降は1人につき300円  
申込方法：公演は2月12日(土)までに、バックステージツアーは1月29日(土)までに、左記チケットインフォメーションまでお申し込みください。
- 車椅子席・補聴システム：事前にお問い合わせください。

## 関連イベント

## YCAMバックステージツアー

2月5日(土) / 6日(日) 14:00-15:00 [各日完結/全2回]

ナビゲーター：梅田宏明、YCAM教育普及スタッフ

参加無料 対象：小学生以上(小学1～3年生は保護者同伴) 定員：各回30名 ※要申込

新作ダンス公演の制作現場を見学する大好評のバックステージツアー。今年度も、ダンス作品ができあがるまでの様子や、作品に使用される技術解説を交えながら、会場をご案内します。本イベントだけの特別な裏話や舞台設備の体験等もあり。ご家族そろってお楽しみいただけます。

## 申込方法：

はがき・FAX・e-mailにて、住所、氏名(ふりがな)、性別、年齢、電話番号・e-mail等連絡先とともに、下記までお申し込みください。

山口情報芸術センター [YCAM] バックステージツアー係

〒753-0075 山口市中園町7-7 FAX: 083-901-2216 e-mail: workshop10@ycam.jp

## トークイベント

2月19日(土) / 20日(日) 終演後

出演：梅田宏明 各回、ゲストあり ※公演チケット持参の方のみ、参加可能

終演後には、梅田宏明とゲストを迎えたトークイベントを開催します。19日(土)には、本作の魅力を語るトークを、20日(日)には、作品に導入された技術についてプレゼンテーションをおこないます。



参考写真：「YCAM探検クルーズ」の様子(2010)